



11月9日は「119番の日」

119番の日とは、国民の消防全般に対する正しい理解と認識を深め、住民の防災意識の高揚を図ることを目的として、消防・救急に関する緊急通報用電話番号である119番にちなんだ語呂合わせで、毎年、11月9日としました。

正しい119通報とはどのようなものか、下記のポイントを確認してみましょう。

● 正しい119番のフローチャート



119番通報で重要なポイント！！

1 火災・救急の種別

落ち着いてははっきりと**火事**なのか**救急**なのかを伝えて下さい。

2 場所

住所を正しく詳しく伝えて下さい。住所がわからない場合は、近くに目印となるもの（コンビニ、公園、交差点等）。

3 状況

火災の場合は、建物、林野など何が燃えているのか、けが人や逃げ遅れの有無等を伝えて下さい。

救急の場合は、具合の悪い方の容態や負傷している体の部位を詳しく伝えて下さい。

4 通報者の氏名・連絡先

再度、状況を聴取することがあるため、「私の名前は、〇〇です。電話番号は△△-□□です。」と通報者を明らかにして下さい。

5 火災通報後の逃げ遅れに注意

通報に夢中になりすぎて、逃げ遅れないよう身の安全を確保すること。



火事・救急・救助は **119**

災害情報案内は

27-8855まで